

エコアクション21 環境経営レポート

(2023年10月1日～2024年9月30日)

令和5年度分



認証・登録番号0003617

発行日 2024年12月2日



株式会社 協和
KYOWA CO., LTD.

目 次

1. 組織の概要	・ ・ ・ ・ 3 ～ 7
2. 環境経営方針	・ ・ ・ ・ 8
3. 取り組み体制と状況および担当者	・ ・ ・ ・ 9
4. 環境経営目標と実績	・ ・ ・ ・ 10 ・ 11
5. 環境経営活動計画の取組結果とその評価、 次年度の取組内容	・ ・ ・ ・ 12
6. 代表者による経営における課題とチャンスの取りまとめ	・ ・ ・ ・ 13
7. 環境関連法規等の遵守確認・評価・違反・訴訟等の有無	・ ・ ・ ・ 14
8. 代表者による全体評価と見直しの評価	・ ・ ・ ・ 14

1. 組織の概要等

1) 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者名

事業所名：株式会社 協和

代表者名：代表取締役 清水 義久

(2) 所在地

本社・工場：東京都足立区千住緑町1-16-7

事務所：東京都足立区千住緑町1-18-14

* 認 証 工場：足立区 第 100 号

* 登録範囲 産業廃棄物及び一般廃棄物の収集運搬、
並びに産業廃棄物の中間処理

(3) 環境管理責任者氏名・担当者連絡先

環境管理責任者
連絡先

石井 薫
TEL : 03-5244-2959
FAX : 03-5244-2962

(4) 法人設立年月日

1959年10月6日

(5) 資本金

5千万円

(6) 売上高

14,680万円（令和5年度）
2023年10月1日～2024年9月30日

(7) 組織図



(8) 事業活動の概要

本社及び工場：管理 営業
古紙回収・産業廃棄物収集運搬
産業廃棄物中間処理

2) 許可登録の内容

(1) 一般廃棄物収集運搬業

許可番号	第127号	許可年月日	令和5年2月1日
許可有効期限	令和9年1月31日	事業区分	収集・運搬
廃棄物の種類	普通ごみ・廃家電		

(2) 産業廃棄物収集運搬業

	許可番号	許可年月日	許可有効期限	事業区分
東京都	第13-10-029729号	令和3年6月1日	令和8年5月31日	収集運搬 (保管・積み替えを含む)
埼玉県	第01101029729号	令和3年8月12日	令和8年6月24日	
神奈川県	第01403029729号	令和4年4月15日	令和9年3月31日	
千葉県	第01200029729号	令和4年7月6日	令和9年7月2日	
茨城県	第00801029729号	令和6年11月11日	令和11年8月16日	
山梨県	第01900029729号	令和6年6月14日	令和11年6月13日	

廃棄物の種類

燃え殻・汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プラスチック類
紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残さ・ゴムくず・金属くず
ガラス、コンクリート・陶磁器くず、鋳さい、がれき類、ばいじん
(石綿含有産業廃棄物を含む) (水銀使用製品産業廃棄物を含む)

(3) 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可証

	許可番号	許可年月日	許可有効期限	事業区分
東京都	第13-50-029729号	令和4年9月30日	令和9年9月29日	収集運搬 (保管・積み替えを除く)
埼玉県	第01151029729号	令和6年8月20日	令和11年7月11日	
神奈川県	第01453029729号	令和6年7月30日	令和11年5月24日	
千葉県	第01250029729号	令和6年9月27日	令和11年8月9日	
茨城県	第00851029729号	令和6年11月11日	令和11年8月16日	
山梨県	第01950029729号	令和6年6月14日	令和11年6月13日	

廃棄物の種類

【1都5県共通】 廃油・廃酸・廃アルカリ・感染性産業廃棄物・廃石綿
【東京都・神奈川県・千葉県・山梨県は下記品目も可】
・特定有害産業廃棄物（鋳さい・ばいじん・燃え殻・廃油・汚泥・廃酸・廃アルカリに限る）

(4) 東京都産業廃棄物処分業

許可番号	第1320029729号	許可年月日	令和2年12月22日
許可有効期限	令和7年12月21日	事業区分	中間処理

廃棄物の種類

廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・ゴムくず
金属くず・ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず・がれき類
(水銀使用製品産業廃棄物を含む。)

(5) 東京都廃棄物再生事業者登録

許可番号	第262号
------	-------

(6) エコアクション21 認証・登録

認証・登録番号	0003617	対象範囲	本社・工場/事務所
認証・登録日	2009年5月11日	有効期限	2025年5月10日

(7) プライバシーマーク 認証・登録

認証番号	第10870049(07)号	有効期限	2025年3月24日
------	----------------	------	------------

3) 事業の規模・施設等の状況

①従業員数 10名

②事業所敷地面積

事業所	事業所規模			積み替え保管施設	
	敷地面積	延床面積	面積	最大保管高さ	保管上限量
本社・工場	469.4㎡	261.9㎡	469.4㎡	2.0m	31.2㎡

③保有車両

・運搬車両の種類・台数

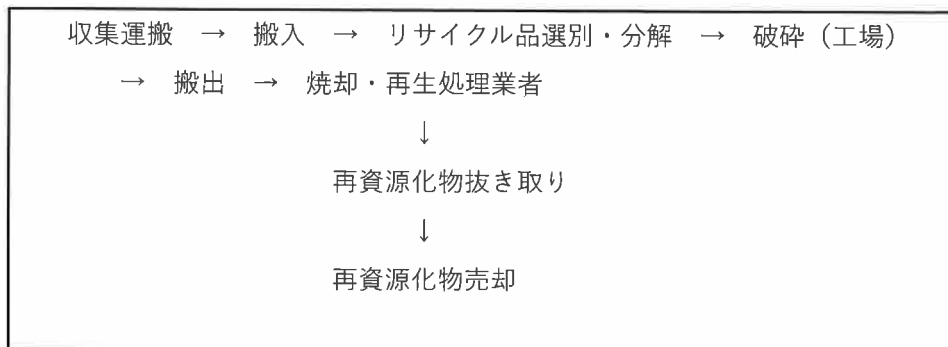
	車体の形状	車体番号	最大積載量 (kg)	備 考
1	脱着装置付コンテナ専用車	足立100た4350	3,900	産業廃棄物
2	厨芥車	足立800は2406	4,250	産業廃棄物
3	ダンプ	足立100た1210	3,050	産業廃棄物
4	キャブオーバー	足立100た1209	2,000	産業廃棄物
5	バン	足立100ち2679	2,000	産廃・家電
6	キャブオーバー	足立400ま3724	2,000	産廃・家電
7	厨芥車	足立800そ8400	2,000	一般廃棄物
8	キャブオーバー	足立400み9293	2,000	産廃・家電
9	フォークリフト	足立区わ10769		
10	フォークリフト	足立区わ10417		
11	ワゴン	練馬333ひ1955		営業車

④主要設備（中間処理）

施設種類	産業廃棄物の種類		処理能力
破碎機1台	廃プラスチック類、木くず、繊維くず、紙くず 金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず ゴムくず、がれき類		4.77 t / 日
設 備 名 称	動力用電力 [kw]	設置数量	備 考
産業廃棄物破碎機	37.0	1	
蛍光灯クラッシャ	0.33	1	
コンベア	3.5	3	

⑤作業工程

・本社工場リサイクルための中間処理、手選別仕分け及び積み替え保管施設



4）取扱実績（令和5年度）

		取扱量（t）	
		収集運搬	中間処理
一般廃棄物		36.54	
産業廃棄物		718.50	816.48
品 目	廃プラスチック類	257.94	292.07 ※
	金属くず	223.78	247.12 ※
	古紙	127.52	140.28 ※
	ガラス・陶磁器類	58.31	80.95 ※
	木くず	50.95	56.06

※中間処理施設にて仕分け作業後、再資源化物として処分したものを含む

（中間処理量については持込分も含む）

2. 環境経営方針

基本理念

この美しい自然環境を守り、次世代に引き継ぐためには、森林資源の確保は必要不可欠です。資源循環型社会を進めているリサイクル業界において株式会社協和では、廃棄物の収集運搬及び処分業者として最終処分の削減に努めたその実績と経験をベースに、常に環境負荷の低減化を考えて行動します。

環境行動

1. エコアクション 2 1 環境経営システム構築に取り組み、その実施運営において、環境関連法令・条約等を厳守するとともに、地域・業界・顧客の環境保全に関する要求事項に配慮し、環境経営活動の継続的な改善を進めていきます。
2. 環境経営目標及び環境経営取組計画として下記を重点項目に設定し、必要に応じてその内容を見直し、環境経営方針に整合した環境行動を実施します。
 - 1) 電力、燃料等の使用量を削減し、二酸化炭素排出量軽減のため、省エネルギー化を推進する。
 - 2) 適正な上水使用を実践し、総排出量の削減を推進する。
 - 3) 廃棄物を徹底的に分別し、リサイクルを推進する。
3. 廃棄物リサイクル事業を通じ、資源循環型社会構築に貢献するため、エコアクション 2 1 環境経営の実施状況を内外に報告します。
4. この環境経営方針を達成するために、教育及び日常の活動を通じて全社員に周知徹底を図るとともにホームページにおける環境経営レポートにて社外に公表します。

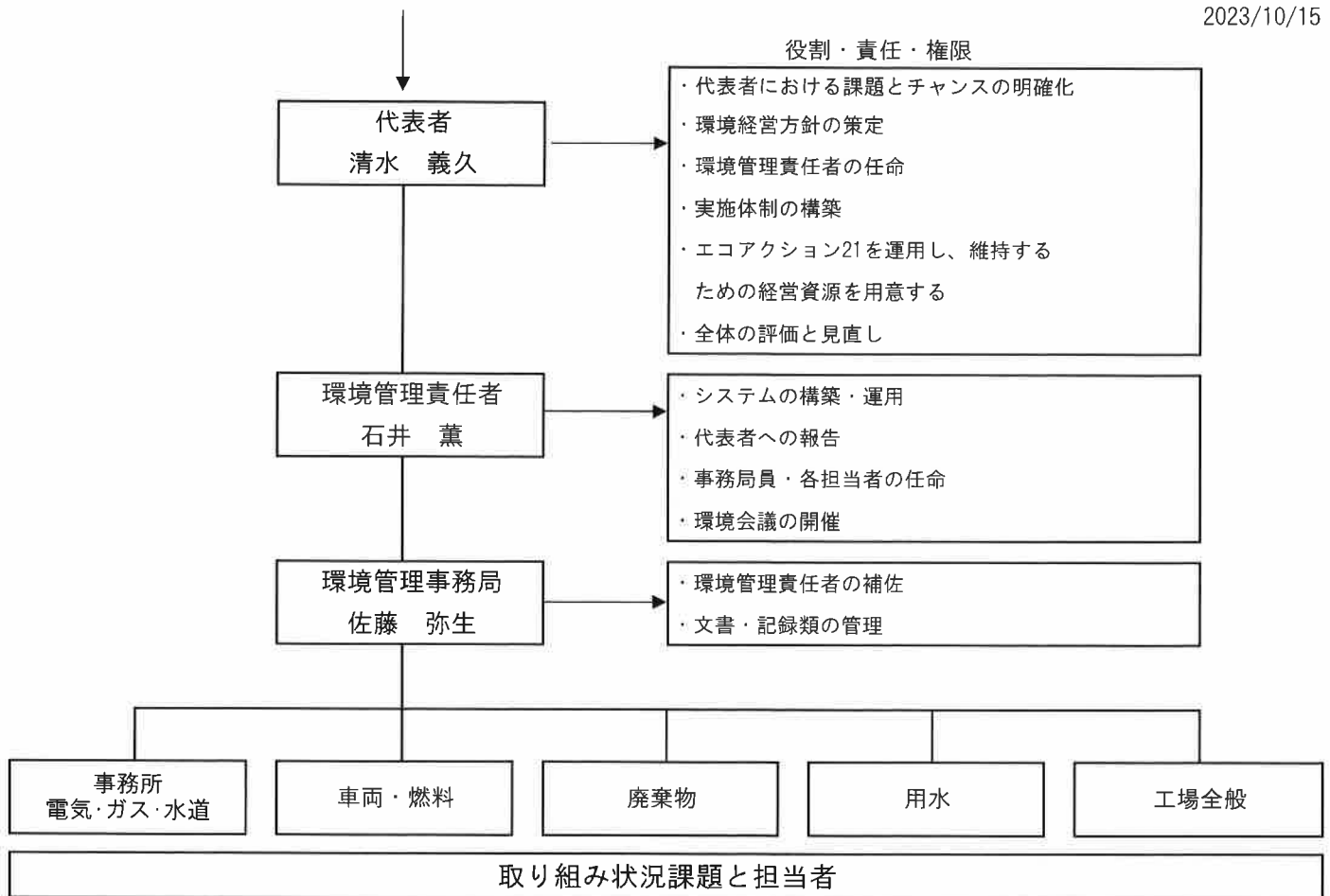
制定日：2010年7月30日

改定日：2022年4月22日

株式会社 協 和
代表取締役 清水 義久

7. エコアクション21の取り組み体制

2023/10/15



佐藤	伊波山	チャン	チャン	伊波山
① 節電の徹底 照明・PC・プリンタ	① 車両の走行距離の低減	① 分別リサイクルの徹底	① 散水時の節水	① 不要照明の削減
② エアコン設定温度 [夏季28℃・冬季20℃]	② 車両点検整備の徹底	② 発生量の把握		② 破砕機未使用時の電源OFF
③ ガスファンヒーターの電源OFF	③ 待機時のアイドリングストップ			③ フォークリフトの走行距離の低減
④ 事務所内の節水 食器洗浄時、作業服洗濯時	④ 車両清掃時の節水			④ 待機車のアイドリングストップ
				⑤ 分別リサイクルの徹底
				⑥ 発生量の把握

4. 環境経営目標と実績

環境経営 目標		基準値	目 標 (対基準年)			
		令和2年度 (2020.10～2021.9)	令和4年度 (2022.10～2023.9)	令和5年度 (2023.10～2024.9)	令和6年度 (2024.10～2025.9)	
1. CO ₂ 削減	①電力使用量(kWh)	14,734 kWh	14,513 kWh	14,439 kWh	14,439 kWh	
	電力消費量削減 kg- CO ₂	6,498	6,401 1.5%削減	6,368 2%削減	6,368 2%削減	
	②軽油使用量(L)	14,927 L	14,703 L	14,628 L	14,628 L	
	軽油消費量削減 kg- CO ₂	38,513	37,935 1.5%削減	37,743 2%削減	37,743 2%削減	
	③ガソリン使用量(L)	3,727 L	3,671 L	3,652 L	3,652 L	
	ガソリン消費量削減 kg- CO ₂	8,648	8,518 1.5%削減	8,475 2%削減	8,475 2%削減	
	④都市ガス使用量(Nm ³)	458 Nm ³	451.1 Nm ³	448.8 Nm ³	448.8 Nm ³	
	都市ガス kg- CO ₂	1021.0	1005.7 1.5%削減	1000.6 2%削減	1000.6 2%削減	
CO ₂ 合計		54,680	53,860	53,587	53,587	
2. 廃棄物排出量削減 (一般廃棄物)		1.8 t	1.77 t 1.5%削減	1.76 t 2%削減	1.76 t 2%削減	
3. 水道使用量削減		165 m ³	162.5 m ³ 1.5%削減	161.7 m ³ 2%削減	161.7 m ³ 2%削減	
4. 中間処理再資源化率向上		440.32 t	446.92 t 1.5%増	449.12 t 2%増	449.12 t 2%増	

環境経営 実績		基準値	目 標 (対基準年)	実 績	評 価
		令和2年度 (2020.10～2021.9)	令和5年度 (2023.10～2024.9)	令和5年度 (2023.10～2024.9)	
1. CO ₂ 削減	①電力消費量削減 kg- CO ₂	6,498	6,368	4,200	○
	②軽油消費量削減 kg- CO ₂	38,513	37,743	33,300	○
	③ガソリン消費量削減 kg- CO ₂	8,648	8,475	4,431	○
	④都市ガス kg- CO ₂	1021.0	1000.6	1,193.1	×
	CO ₂ 合計	54,680	53,587	43,124	○
2. 廃棄物排出量削減(一般廃棄物)		1.8 t	1.76 t	1.335 t	○
3. 水道使用量削減		165 m ³	161.7 m ³	170 m ³	×
4. 中間処理再資源化率向上		440.32 t	449.12 t	367.25 t	×

○：目標達成 ×：目標未達 ※二酸化炭素排出係数：2022年度 東京電力㈱ 0.457kg- CO₂/kwh

※目標（対基準年）2024年の数値は据置

過去3年の実績

環境経営実績		2年度 (2020.10～ 2021.9)	3年度 (2021.10～ 2022.9)	4年度 (2022.10～ 2023.9)
1 ・ C o 2 削 減	① 電力消費量 削減	14,734 kWh 6,498 kg- CO ²	15,252 kWh 6,970 kg- CO ²	10,978 kWh 5,129 kg- CO ²
	② 軽油消費量 削減	14,927 L 38,513 kg- CO ²	14,254 L 36,775 kg- CO ²	13,546 L 34,949 kg- CO ²
	③ ガソリン消費量 削減	3,727 L 8,648 kg- CO ²	3,577 L 8,299 kg- CO ²	2,544 L 5,903 kg- CO ²
	④ 都市ガス 削減	458 Nm ³ 1,021 kg- CO ²	678 Nm ³ 1,511 kg- CO ²	579 Nm ³ 1,291 kg- CO ²
	合 計	54,680 kg- CO ²	53,555 kg- CO ²	47,272 kg- CO ²
	2. 廃棄物排出量削減 (一般廃棄物)	1.80 t	1.13 t	1.13 t
	3. 水道使用量削減	165m ³	297m ³	181m ³
	4. 中間処理再生資源化率向上	440.32 t	412 t	388.44 t

5. 主要な環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営活動計画
(2023年10月～2024年 9月)

	取り組み項目	評価	次年度の環境経営活動計画
1)Co2削減			
①電力消費量削減	設備動力用電力消費量の効率化	○	破砕機の稼動効率を考慮した運転を実施する。
	不要照明の消灯	○	今後も継続実行。
	エアコンの温度管理	○	温度管理を徹底する。
②都市ガス消費量削減	暖房の使用量削減のための効率化	△ ○	暖房の温度管理の徹底 不要箇所の暖房を切る
③燃料消費量削減	収集計画の効率化	△	毎日もっと効率よく収集運搬をするように配車をする。
	車両の点検整備の徹底	○	運行管理表を毎日つける。
	エコドライブの徹底	○	定期的に教育を実施し燃費向上に向けエコドライブの徹底をする。
2)廃棄物排出量削減			
	廃棄物分別の徹底	△	継続廃棄物分別を徹底する。
	廃棄物量の計測実施	○	継続して実行する。
3)水道使用量削減			
	散水時の節水	△	高圧清浄機を使う。
	手洗い時の節水	○	継続して実行する。
4)中間処理再生資源化率向上			
	ゴミを分別し資源化できるようにする	△	収集後の分別をさらに徹底しリサイクル資源（金属原料・紙資源・プラスチック資源）を増やす。

○：良好、 △：不十分、 ×：未実施

6. 代表者による経営における課題とチャンスの取りまとめ

事業者名	株式会社 協 和		
代表者名	清水 義久	日付	2024年11月26日
事業内容等	廃棄物の搬出収集運搬及び処分・リサイクル業務		
事業を取り巻く状況	同業者の増加による価格競争の恐れがある		
事業と環境とのかかわり	当社は廃棄物の処分業務を行っており環境に影響を与える事業なので、リサイクルには特に力を入れている		
経営方針	現在のリサイクル事業をより進歩させ、廃棄物を有価物及び代替エネルギーとして有効活用する		

	事業者の内部に起因するもの	事業者の外部に起因するもの
経営における課題 (事業上の弱み、問題点等)	・ 新規社員の獲得が困難 ・ 少人数での業務遂行の思案	・ 多様な廃棄物が発生し有害物質を含むものは目視でせず判別困難 ・ 燃料費の高騰や最終処分費用が上がると運営費に費用がかかる
経営におけるチャンス (事業上の強み、有利な点等)	当社は長年廃棄物業務を行っているため関係業者とも信頼関係が築けているので情報を交換でき、他の業者より有利と思われる	長年の業務を行っているため、顧客からの信頼が厚い

7. 環境関連法規等の遵守確認・評価・違反・訴訟等の有無

(1) 適用される法規制

①都民の健康と安全を確保する環境に関する条例 (環境確保条令)	②廃棄物の処理及び清掃に関する法律
③足立区廃棄物の処理及び再生利用に関する条例	④騒音規制法
⑤振動規制法	⑥資源有効利用促進法 (パソコンリサイクル省令)
⑦容器包装リサイクル法	⑧家電リサイクル法
⑨自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質 の特定地域における総量の削減等	⑩東京都環境確保条例
⑪労働安全衛生法	⑫消防法
⑬道路交通法	⑭道路運送車両法
⑮フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)	

(2) 環境関連法規等の違反・訴訟等の有無

記入日：2024/11/26

環境関連法規への違反・訴訟はありません。

関係当局よりの違反等の指摘も過去3年間ありません。

8. 代表者による全体評価と見直しの評価

従業員一人一人が環境保全に自覚し、「エコアクション21」を積極的に取り込んだが、今年度は環境経営目標達成が不十分なところがありました。次年度は環境経営方針にもとづき達成できるように進めていくこととします。

- ・都市ガスの使用はガス暖房使用によるものなので、エアコン併用でガスの使用量が軽減する。
- ・洗い物は帰宅時にまとめてするようにする。
- ・グリーン購入を積極的に進め環境に配慮した資材の調達を心掛けます。
- ・従業員への3R、環境関連法規など教育による意識の向上に努めます。

全ての従業員がエコアクション21の意識を高め取り組み、顧客への情報提供（再資源化の提案、分別指導など）ができ、廃棄物再資源化の推進、廃棄物有価物化推進し循環型社会の形成に貢献していきたいと思っています。

2024年11月26日

代表取締役 清水 義久